



学校便り

平成22年10月25日
広島市立広瀬小学校
校長 中田 浩志

コミュニケーションを大切に、「ありがとう」が言える子に

今年度の学校経営計画の目標の中に、「コミュニケーションを大切にする」という目標があります。それをもとに本校では、「自分から進んであいさつができること」「ありがとうと言ったり言ってもらったりすること」を目標に頑張っています。そこで、年3回あいさつ週間を設け、取り組んでいます。10月13日から25日の期間は、今年度2回目のあいさつ週間に当たっています。この期間に二つの取り組みを計画しています。

一つ目は、子どもたちが縦割りで校門近くに立って、登校してきた友だちや先生に進んであいさつをする取り組みです。二つ目は、「ありがとうピンゴ」の取り組みです。一人一人が自分のピンゴカードを持ち、ピンゴになるために積極的に「ありがとう」を言います。学校だけでなく、家庭や地域の方にもご協力いただかないとピンゴにはなりません。ご協力をよろしくお願いいたします。



また、この度、あいさつ運動をするためのたすきを作りました。



中学校区ふれあい活動推進協議会で、中学校区の4校それぞれが独自のたすきを作ろうということになりました。広瀬小学校では、「笑顔であいさつ」というスローガンを入れ、100周年の時のキャラクターを印刷した物を作りました。

1月11日には、中学生も一緒に参加し、あいさつ運動をする予定です。

かわいい「ミニウサギ」 飼いませんか

広瀬小学校では昨年度、北祇園幼稚園からかわいい「ミニウサギ」をゆずり受けました。今では数が、8わにも増えました。4年生が毎日世話をしていますが、飼育舎が少し手詰まになりました。保護者の方の中で、飼ってみようと思われる方はありませんか。教頭までご連絡ください。



Tel 231-0680

全国学力・学習状況調査の結果より

4月20日に国内の小学校6年生全員を対象に国語・算数の学力や学習状況を把握する調査が行われました。その結果については、10月7・8日の個人懇談の場で6年生の保護者のみなさまにお伝えいたしました。

本校では6年生の結果を受けて、学力向上へ向けた全校的な取り組みを展開していきたいと考えています。

【国語・算数の結果より】

国語の正答率は、全般的に概ね県や市の平均と同じ正答率でした。漢字の読み書きなどの基礎的な言語事項は概ね定着していますが、文章の組み立てやつながりを読み取って、自分の考えを整理して文章にすることに課題がありました。算数は、県や市の平均を上回る正答率でした。四則計算・図形の性質や角度については、概ね定着していますが、導き出した答えについて、どのように考えたのか文章や式を使って表現することに課題がありました。

そこで、次の二点を取り組むことを確認しました。

一点目は、引き続き、漢字の読み書き・四則計算など、基礎的な力を身につける時間を、国語や算数の時間以外に他の教科や「いきいきタイム」や家庭学習でも確保できるようにすることです。

二点目は、自分の考えを表現する活動を、国語や算数の時間だけでなく、他の教科の時間でも積極的に取り入れていくことです。

ご理解・ご協力をお願いいたします。

学校支援員・ICT支援員 配置される

10月12日より、学校支援員として、辻本翔子先生が赴任しました。学校支援員の仕事としては、児童の学校生活の支援、児童の学習活動の支援、教職員が行う調査事務・資料作成の手伝いなどがあります。

また、10月15日より、ICT支援員として、小田部増子先生が赴任しました。ICT支援員の仕事としては、授業における機器・ソフトウェアの設定や操作などのICT支援、機器・ソフトウェアや教材等の紹介や効果的な活用に向けた助言、デジタル教材作成等の支援や機器等の簡単なメンテナンスなどがあります。



(辻本 翔子)

明るく、楽しく、
前向きに！！
短い期間ですが
よろしくお願いします。



(小田部増子)

前向きさが一番
のとりえです。仲
良くしてください
ね！よろしく
お願いします。

集団下校を実施します。

平成17年11月22日の矢野西小学校女児児童の殺害事件から5年が経過しようとしており、地域のみなさまをはじめ、保護者のみなさまには安全確保に格段の配慮をいただきありがとうございます。

今年も、11月の子ども安全の日には集団下校を実施したいと思います。ご都合のつく方は、下校の様子を見守っていただければと思います。よろしくお願いいたします。

**11月19日（金） 全学年15：05下校です。
町別に集団下校します。**